泉佐野市 部活動通信

泉佐野市教育委員会
☎072-463-1212
2026 年 10 月発行（第 2 号）

～ 未来につながる持続可能な部活動環境づくりへ ～

好きだから、続けたい　その想いを泉佐野市は支えます
子どもたちの「好き」を泉佐野市がつなぐ　泉佐野市の部活動挑戦

◆特集　全国で進む部活動改革

～子どもたちの未来のために、持続可能なスポーツ・文化活動をめざして～

近年、少子化の進行や教員の働き方改革などを背景に、全国で部活動の在り方が見直されています。学校だけで部活動を支えるこれまでの仕組みから地域全体で子どもたちのスポーツ・文化活動を支える新しい体制への地域展開を行うよう、令和 5 年度から令和 7 年度は「改革推進期間」、令和 8 年度から令和 13 年度は「改革実行期間」と位置づけた部活動改革に関する国のガイドラインが示されています。

このガイドラインに則り、全国の地方自治体では、中学生部活動を地域の実情に応じ地域全体で支えていくための部活動改革が進められています。改革の目的は、部活動をなくすことではありません。子どもたちが将来にわたり、スポーツや文化芸術活動に親しみ、安心して活動できる環境を整えることです。また、教員の働き方改革を進めながら、持続可能な活動体制を構築することも大切な目的です。

泉佐野市・教育委員会におきましても、国の方針にもとづき、「子どもたちを第一に」、「学校も大切に」、「地域とともに」この３つを大切にする姿勢で、中学生部活動を、「泉佐野らしい」新しいカタチへと創り上げていくための取組を進めています。

📌 全国で広がる取組

全国では、地域指導者の活用、複数校合同での活動、民間団体への運営委託など、それぞれの地域の特色を生かした取組が進められています。

<参考事例>

東京都渋谷区（一般社団法人 渋谷ユナイテッド）

区内８つのすべての中学校を対象とした地域移行を推進するため、2021 年に「一般社団法人渋谷ユナイテッド」を設立しました。特徴：学校単位ではなく、区内全域の生徒が参加できる合同部活動として運営しています。サッカーなどの定番スポーツだけでなく、ボウリング、ダンス、パラスポーツ（ボッチャ）、フェンシング、将棋、パソコンなど全９種目（後にさらに拡大）を開設。指導者や活動場所は、区内に拠点を置く民間企業や専門団体と連携して確保しています。

千葉県柏市

生徒の参加申込から指導者の登録、兼職兼業の手続きまで、地域移行に関する手続きや情報を市のウェブサイトで一元化するプラットフォームを構築しています。地域の事情をデータで可視化し、計画的な運用を行っている先進地域です。

埼玉県白岡市

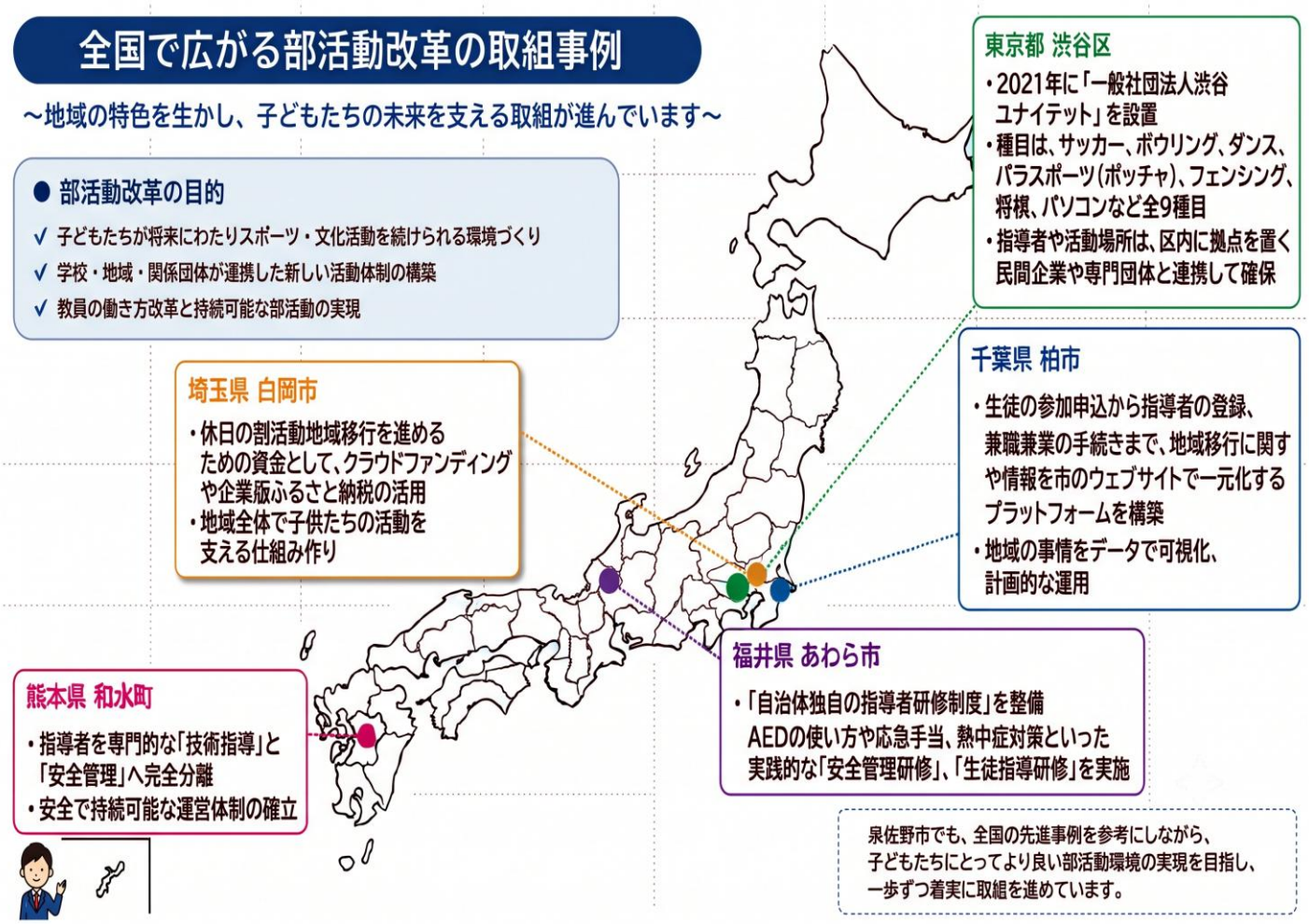
休日の部活動地域移行を進めるための資金として、クラウドファンディングや企業版ふるさと納税を活用し、地域全体で子供たちの活動を支える仕組み作りに挑戦しています。

熊本県和水町

複数校が合同で活動する休日地域クラブにおいて、専門的な「技術指導者」とは別に、安全管理や事務手続きを担う「見守りスタッフ」を各活動場所に配置しています。役割の分担：指導者が技術指導に専念できる環境を作るため、見守りスタッフが「生徒の出欠確認」「怪我・体調不良時の応急処置や保護者連絡」「熱中症対策（給水管理）」などの安全管理を一手に行います。

福井県あわら市

地域クラブ活動を支える指導者の育成に向け、技術面だけでなく子どもたちの人間性を育むための「自治体独自の指導者研修制度」を整備しています。具体的な取組内容は、AED の使い方や応急手当、熱中症対策といった実践的な「安全管理研修」に加え、あわら市教育委員会による独自の「生徒指導研修」を実施しています。この研修では、いじめや人権に関する内容をカリキュラムに盛り込んでいます。



📍泉佐野市では、全国の先進事例を参考にしながら、子どもたちにとってより良い部活動環境の実現をめざし、一歩ずつ着実に取組を進めています。次回号は、泉佐野市の「中学生部活動改革推進計画」の内容をご紹介する予定です。今回は、泉佐野市立中学校（５校）の部活動活動状況をご紹介します。

◆泉佐野市の中学生部活動紹介

佐野中学校　～直近の部活動試合結果～

クラブ	主な結果・予定
女子ソフトテニス部	7/29～30 泉南地区大会 AB 団体戦 A チーム優勝、 8/17 市民大会 団体準優勝、8/18 市民大会 個人準優勝・3 位（2 ペア入賞）
男子ソフトテニス部	8/18 市民大会 団体準優勝、8/19 市民大会 個人優勝
ソフトボール部	8/30 泉南地区新人大会 準優勝
バレーボール部	大阪中体連 優秀選手賞、8/30 泉南地区 男子 3 位・女子 3 位
バドミントン部	8/1 泉南地区秋季大会 団体 3 位、8/21 泉佐野市中体連新人大会 2 年生シングルス 3 位
陸上競技部	8/29 泉南地区秋季大会 女子総合 3 位、男女総合 4 位。個人でも各種目で入賞
吹奏楽部	7/29 大阪府吹奏楽コンクール南地区大会小編成の部 金賞、8/21 クラブ交歓会出演、 9/19 第 42 回定期演奏会（14:00～、エブノ泉の森ホール小ホール）

今年度から部活動では朝練なしとなりましたが、子どもたちはしっかりと結果を残してくれています。

この調子でがんばってほしいと思います。

新池中学校　～部活動の様子を発信しています～

今年度、新池中学校ではインスタグラムを活用した情報発信を行っており、その中で子どもたちが部活動にとりくんでいる様子を時々紹介しています。インスタグラム用の写真を撮影していると、子どもたちの一生懸命な姿に感動することがよくあります。この部活動通信をご覧になった方々にもぜひ見ていただきたいです。素晴らしい瞬間が刻まれています。（インスタグラムで「新池」と検索してください）

子どもたちだけでなく、保護者の方々や地域の方々もそれらの写真を楽しみに見てくださっていて、子どもたちの頑張りに注目が集まり、称賛や応援の声が増えてきました。そのせいか、子どもたちも自分のクラブに誇りを感じてくれているようで、部活動に対する意欲がより一層高まっているように感じます。

子どもたちが生き生きと活動する姿を地域の方々に見ていただくことによって、現在進められている「部活動の地域展開」にも良い形でつなげていければと考えています。

第三中学校　～部活動紹介～

各クラブのキャプテンがおこなうキックオフミーティング

本校では、運動部・文化部それぞれの活動を通して、技術や技能の向上だけでなく、礼儀、責任感、協調性、継続する力、挑戦する心を育んでいます。

第三中学校のクラブ活動の数は、運動部・文化部を合わせて15クラブが活動しています。運動部は、陸上部・サッカー部・バドミントン部・女子バレーボール部・野球部・男子バスケットボール部・女子バスケットボール部（佐野中と合同チーム）・ソフトテニス部・卓球部・剣道部（拠点校）の11クラブ。文化部は、美術アニメ部・華道部・吹奏楽部・JOINあす部の4クラブです。各クラブとも仲間とつながり自分を成長させる大切な教育活動として活動しています。夏休み期間中、どのクラブも厳しい暑さの中、頑張ってくれました。その中でもソフトボール部が大阪府中体連ソフトボール大会でベスト16と素晴らしい結果を残しています。また、吹奏楽部が大阪府吹奏楽コンクール南地区、本選と金賞を受賞し、滋賀県で行われた関西大会に出場し銀賞に輝きました。部活を通して「できなかったことができるようになった」「仲間と一緒に頑張ることができた」という一つ一つの経験を生徒の自信と成長につなげていきます。

ソフトボール部　大阪大会ベスト16

吹奏楽部　関西大会吹奏楽コンクール　銀賞受賞

日根野中学校　～部活動紹介～

日根野中学校には、９つの体育系クラブと５つの文化系クラブがあります。日ごろから生徒のみなさんは、個性を生かし主体的にとりくむことで創造性を養い、幅広い人間関係を築いています。また、生徒のみなさんと教職員が一体となった集団を作り、対外試合等の機会を持つことで、他校生徒の友愛を深めるだけでなく、社会生活に必要な心や態度を育てています。

コーラス部

バレーボール部

体育系クラブ	文化系クラブ
・野球部 ・サッカー部 ・女子ソフトボール部 ・男子バスケットボール部 ・女子バスケットボール部 ・女子バレーボール部 ・男子ソフトテニス部 ・女子バドミントン部 ・陸上競技部	・コーラス部 ・美術部 ・科学部 ・華道部 ・ボランティア活動部

サッカー部

バスケットボール部

長南中学校　～部活動紹介～

長南中学校では、子どもの個性や自主性を育むため、運動部・文化部ともに多様な活動を展開しています。

2026 年度の部活動

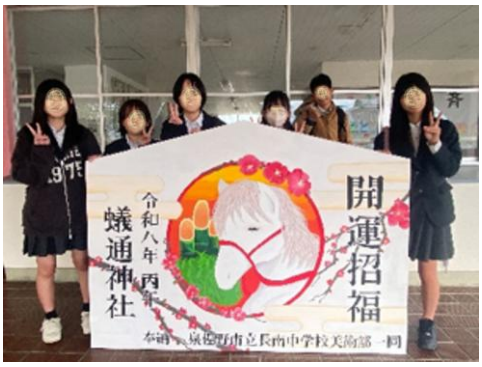
- **運動部**：陸上部、ソフトテニス部、野球部
  ソフトボール部、サッカー部（2026 年度休部）
  バレーボール部、バスケットボール部
- **文化部**：人権問題研究部、華道部、美術部

部活動指導員や地域の方がたの温かいご協力・ご指導のもと、日々の練習にとりくんでいます。

各部の主な取り組み

運動部では目標設定や成長の可視化を取り入れながら計画的に練習を重ね、中学校体育連盟主催の大会や泉佐野市民大会等で成果を発揮しています。部員数が少ない場合は他校との合同チームで出場するなど、大会参加の機会を確保しています。

文化部では作品制作や発表準備に工夫してとりくむほか、「熱中フォーラム」等の行事への参加、蟻通神社の大絵馬制作、学校式典用の生け花制作など、学校・地域の文化活動にも貢献しています。



拠点校方式による部活動　～柔道部（佐野中学校）紹介～

地域団体による部活動指導について（泉佐野市柔道連盟　日根野谷育弘）

今年度から、佐野中学校柔道部を拠点校として、市内５中学校の生徒が学校の部活動として柔道に参加できるようになりました。私たち泉佐野市柔道連盟は、その指導と運営を担っています。

学校職員ではない指導者と部員で構成される部活動ですが、専門競技の指導経験が豊富な指導者が、技術面・体力面を支えます。また、学校の枠を越え、柔道を通じて人としての強さを育む指導をめざしています。

練習日や時間には制限がありますが、限られた時間の中で、部員たちと真剣に向き合っていきます。

中学校の３年間は、子どもたちの身体が大きく成長する時期です。柔道は決して楽な競技ではありませんが、部員たちは日々、懸命に練習に取り組んでいます。3 年後の成長に、ぜひご期待ください。

拠点校方式による部活動　～剣道部（第三中学校）紹介～

地域団体による部活動指導について（泉佐野剣道協会）

４月から委託を受け、部員は第三中学校、３年男子２名と２年女子２名（のち１年男子２名入部しましたが、１名休部）、新池中３年男子１名、日根野中３年男子１名と１年男子１名の部員９名と指導者、赤坂谷[教士七段」・今塩屋[教士七段]の２名でスタートしました。平日は第三中学校剣道場で三中生部員を中心に稽古を行ない、土曜日は熊取南中学校剣道部と練習試合を中心に合同稽古会を行い、月に１回は岸和田市の心技館女子部との合同稽古会を第三中学校剣道場で稽古会を行っています。

三中生部員は中学校から剣道を始めた部員で公式戦での戦績は３年部員は全員１勝はできましたが、それ以上の成績は難しく、段位習得について、男子２名は初段（内１名は二段挑戦中）、女子は２名共に二段を修得しました。

他校の部員は小学校時代からの各道場出身で３年男子２名（二段）は春の泉南地区大会で個人ベスト８に入賞し、地区代表として大阪中学校剣道個人選手権大会に出場し２名とも２回戦まで進みました。

８月からは指導者として田仲（教士七段）も加わりました。９月以降は３年生の稽古の参加は少なくなりましたが、現在は１年部員を中心に稽古を行っています。